

能登半島地震に関する校長メッセージ2
～オンライン学習について～

保護者・生徒の皆様へ

令和6年能登半島地震の発生から10日余りが経過しました。

甚大な被害を被った奥能登では、亡くなられた方が日を追って増加しており、避難所の水や食料、トイレ問題などの深刻さを知るたびに心が痛みます。保護者・生徒の皆様も同じように感じていらっしゃると思います。

生徒の皆さんはどのような日々を過ごしていますか。毎日、地震被害の報道を目の当たりにして、自分自身がダメージを受けたり、疲れたりしていませんか。心理学では「共感疲労」という言葉があるそうです。他人のつらさに共感するあまり、自分もつらくなってしまうという現象です。もしこうしたことがあれば、ひとりで抱え込まずに、自分の気持ちを友人や家族に話してみましよう。もちろん学校に相談してもらうことも大歓迎です。話すことが安心感につながります。

さて、現在、学校ではCS棟前の更なる崩落を防ぐ工事とともに、安全な通学路の確保など、学校再開に向けた復旧工事が急ピッチで進められています。また、建築耐震構造学や地盤防災工学の専門家に崩落の原因や校舎の安全性を検分していただき、校舎の使用についてはCS棟など一部を除き、十分安全だとの確証を得たところです。

生徒の皆さんには一度学校に登校し、クロームブックや教科書等を持ち帰り、自宅でオンライン学習に取り組んでももらいます。高校時代の学習は、生涯にわたり影響を及ぼす大変貴重なものです。学校再開までの間、一生懸命オンライン学習に取り組み、苦手科目の克服にチャレンジするなど、自分の成長につなげられるよう頑張ってください。ピンチはチャンスなのです。

保護者・生徒の皆様には、工事の進捗状況に鑑み、あと少しの間ご不便をおかけしますが、今後も教職員一丸となって、一刻も早い学校再開を目指し準備を進めてまいります。どうかご理解とご協力のほど何卒よろしく願いいたします。

令和6年1月12日

石川県立金沢北陵高等学校
校長 中村 悟